

秋葉区(新津地域)における景況調査の結果概要(2022年7月～9月期)

- 1. 調査対象 100事業所(有効回答数75社、回答率75%)
- 2. 対象期間 2022年7～9月期実績 及び 2022年10～12月期の見通し

3. 調査結果の概要

全業種とも業況DI値(好転の割合から悪化の割合を引いた値)は、マイナス圏内となっており、10～12月の先行きについてもマイナスの見通しとなっている。サービス業は、前回調査に比べると好転しており今後の見通しも好転となっている。

新型コロナウイルスの経営に与える影響については、悪影響が46%、今後悪影響が13%、合計で59%になっており、前回調査に比べると好転している。国や県、市の新型コロナウイルス支援策の利用は、利用したが50%、今後利用するが11%、合計で61%となっている。

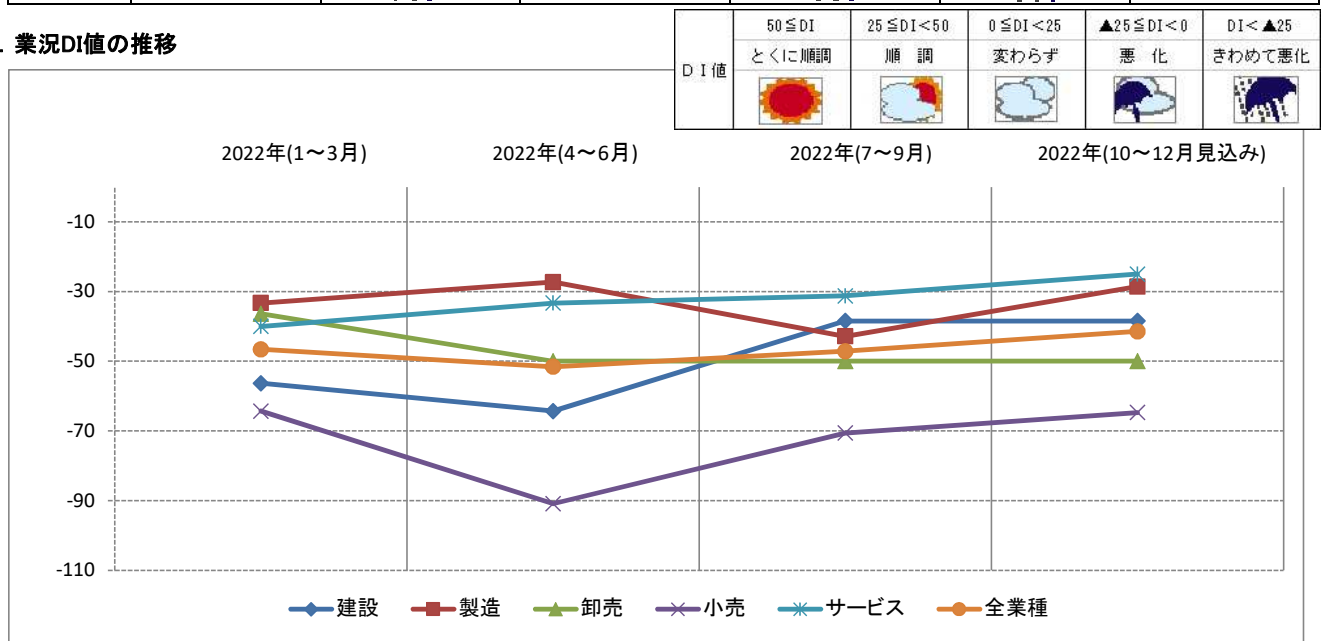
経営上の問題点については、多い順に「需要の停滞」「単価の低下・上昇難」「人件費の増加・圧迫」「経費増加」「熟練技術者の確保難」、小売業とサービス業では「需要の停滞」がもっとも多く、建設業では「熟練技術者の確保難」が多く散見された。

設備投資については、「車両運搬具」「OA機器」などであるが、全体に低調な状況となっている。

4. 業種別項目別のDI値※()は見通し

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
売上高	△ 15.4 (△ 46.2)	0.0 (△ 7.1)	△ 20.0 (△ 20.0)	△ 41.2 (△ 58.8)	6.3 (△ 25.0)	△ 14.3 (△ 32.9)
仕入単価	△ 84.6 (△ 61.5)	△ 78.6 (△ 50.0)	△ 60.0 (△ 50.0)	△ 70.6 (△ 70.6)	△ 62.5 (△ 50.0)	△ 71.4 (△ 57.1)
採算	△ 61.5 (△ 53.8)	△ 42.9 (△ 42.9)	10.0 (△ 30.0)	△ 58.8 (△ 52.9)	△ 18.8 (△ 18.8)	△ 37.1 (△ 40.0)
資金繰り	△ 7.7 (△ 38.5)	21.4 (21.4)	10.0 (0.0)	△ 52.9 (△ 41.2)	△ 18.8 (△ 18.8)	△ 12.9 (△ 17.1)
従業員数	△ 7.7 (0.0)	△ 21.4 (7.1)	△ 20.0 (△ 20.0)	0.0 (5.9)	△ 6.3 (0.0)	△ 10.0 (0.0)
業況	△ 38.5 (△ 38.5)	△ 42.9 (△ 28.6)	△ 50.0 (△ 50.0)	△ 70.6 (△ 64.7)	△ 31.3 (△ 25.0)	△ 47.1 (△ 41.4)

5. 業況DI値の推移



6. 新型コロナウイルスの経営への影響

悪影響	今後悪影響	影響はあったが回復	影響なし
46%	13%	21%	20%

7. 新型コロナウイルスに関連した支援策の利用状況

利用した	今後利用する	利用予定なし
50%	11%	39%

この調査は、新津商工会議所が秋葉区(新津地域)における企業の景況動向を把握するために全業種を対象に四半期毎に実施しています。